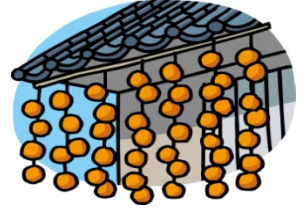


# 営農情報

2017 11月号 No.62



 J Aレーク伊吹 経済部 営農企画課  
TEL 0749-63-2101 FAX 0749-64-2085

## 今月の話題

- ◆ 今年産米の品質傾向・特徴を振り返る(次年度対策)
- ◆ 石灰窒素の利かし方 ～水田秋まき～
- ◆ 農政ダイジェスト

### メモ

- ✓ 11/10, 11, 12 農業機械大展示会  
長浜バイオ大学ドーム
- ✓ 予告  
廃プラスチック類回収  
11月25日近江CE・神照CE  
12月 2日伊吹CE・長浜CE
- ✓ 土づくり資材のご注文はお済ですか？
- ✓ JAで土壌分析をしてみませんか？  
基本項目を分析し、土壌の実態が  
分析出来ます。(1項目分析259円)

### 毎年恒例の風景…？



今月の営農情報でも触れていますが、天候不順で土壌が乾きにくいため、水たまりができています。圃場を多く見かけます。

来年のスタートダッシュのためにも今のうちに排水対策を施し、水はけの改善を！

# 今年産米の品質傾向・特徴を振り返る (次年度対策)

先月の営農情報では、今年度の1等比率を情報提供しました。今月は、より詳しい今年度産の特徴について考えます。



レク  
伊吹の

## 今年産の1等比率の概要

10月10日集計 (地場・加計)

- コシヒカリ **77.5%**
- 特別栽培コシヒカリ **86.9%**
- 日本晴 **83.8%**
- 秋の詩 **76.5%**
- キヌヒカリ **84.0%**
- みずかがみ **92.3%**

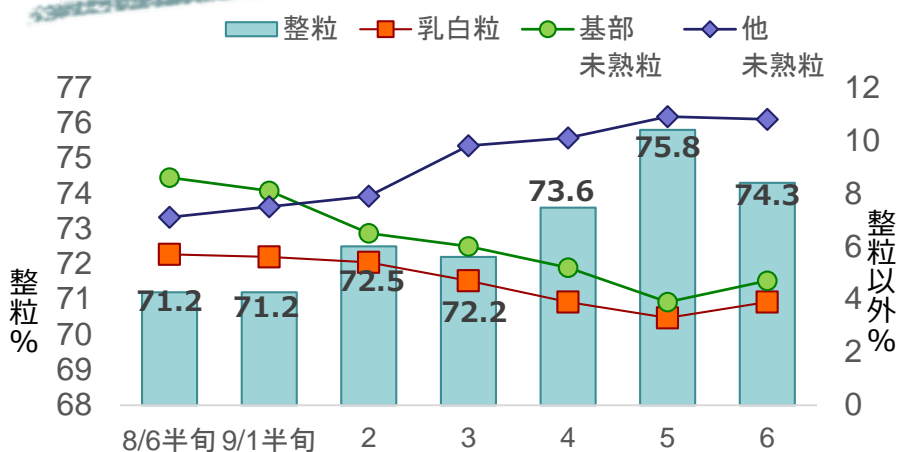
## 穀粒判別機の支店別まとめ

(コシヒカリ・地場出荷時の穀粒判別機のデータより)

支店	整粒 <b>チエック</b>	品質を低下させる主な要因							
		胴割粒	乳白粒	基部未熟粒	腹白未熟粒	青未熟粒	他未熟粒	着色粒	その他
伊吹	75.9	2.0	4.4	2.7	1.5	1.6	9.9	0.1	1.6
柏原	74.6	1.2	5.6	1.9	2.1	2.6	9.9	0.1	1.8
山東	76.2	1.6	5.3	3.9	1.9	1.1	7.5	0.0	2.1
米原	72.5	1.7	6.6	5.2	1.9	1.5	7.6	0.0	2.6
近江	73.1	1.3	4.7	6.8	2.0	1.6	8.1	0.0	1.9
長浜東	71.2	1.4	4.0	7.9	1.7	1.5	9.8	0.0	1.6
長浜南	71.0	1.5	4.6	7.5	2.0	1.6	9.4	0.0	1.8
長浜北	70.9	1.5	4.6	8.5	2.4	0.8	8.7	0.0	2.1
<b>チエック</b> 上位300 サンプル平均	82.2	1.2	2.6	2.8	1.1	1.2	7.4	0.0	2.0
H27実績	69.6	4.0	4.5	5.8	1.9	1.0	11.6	0.1	1.6
H28実績	72.3	4.8	2.4	5.4	0.9	0.8	12.0	0.0	1.4

- ✓ 例年に比べ、胴割れ・その他未熟粒は少ない傾向
- ✓ 上位サンプルと比較すると、主に乳白、基部未熟で数値に大きく差が出ました。8月以降の低温や日照不足といった条件の中で、籾数を抑制し、登熟後半まで水分や栄養状態を維持できたかがポイント

## コシヒカリ出荷日別 整粒値の変化



- ✓ 9/5~10出荷分が、整粒・乳白・未熟粒が平均して最も安定していたので、早植えの収穫適期のように思われます
- ✓ 9月第3半旬~では、その他未熟粒は増加傾向。遅植えのものは出穂直後の台風の影響から、籾ずれや登熟不良が発生した可能性があります

品種別の品質と食味に関してはどうでしょうか？  
メリット・デメリットのポイントを抑え、来年度の改善箇所を考えます。



## 品種別 食味と整粒の特徴

JA自主分析 (地場) の結果から

品種	分析数	タンパク	アミロース	スコア	整粒
みずかがみ	43	7.7	17.4	74.1	76.2
コシヒカリ	421	7.7	18.0	74.0	72.6
特裁コシヒカリ	56	7.4	17.9	75.9	71.5

### 傾向まとめ

みずかがみ・・・品種特性からアミロースが低く粘りがあるため、食味スコアが上がり易い。  
温暖化対応品種で高温に強く整粒良好

コシヒカリ・・・タンパク目標が乾物換算で、7.5以下を目標としています。

少し高い傾向で、食味値スコアやや不調。整粒向上には、その他未熟の改善必要

特裁コシヒカリ・・・有機質肥料で、タンパク低めで食味値高い。

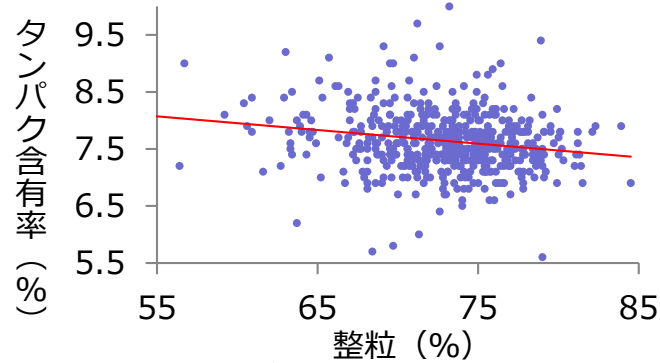
整粒が低くなる傾向。栄養凋落のリスクあり。地力増進対策も必要か

### 食味向上ポイント

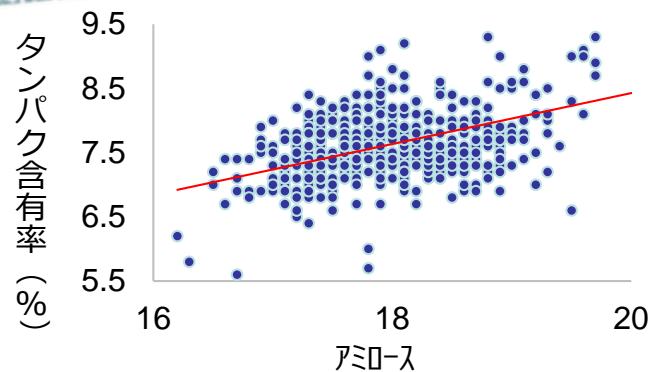
#### 整粒と食味との関係

(コシヒカリ品種)

- ✓ 概ね整粒が多いと、たんぱく含有率は減る傾向。タンパクが減少するとアミロースも減少し、食味がUP。お米のデンプンはアミロースとアミロペクチンの2成分から構成され、アミロース含量の低いお米は美味しいと感じる
- ✓ ケイ酸を補給すると、イネの体がつくられ光合成能力が高まりデンプンが多く供給されるので、相対的にタンパクの割合が減る(稲わらのすき込み、ケイ酸資材の投入)

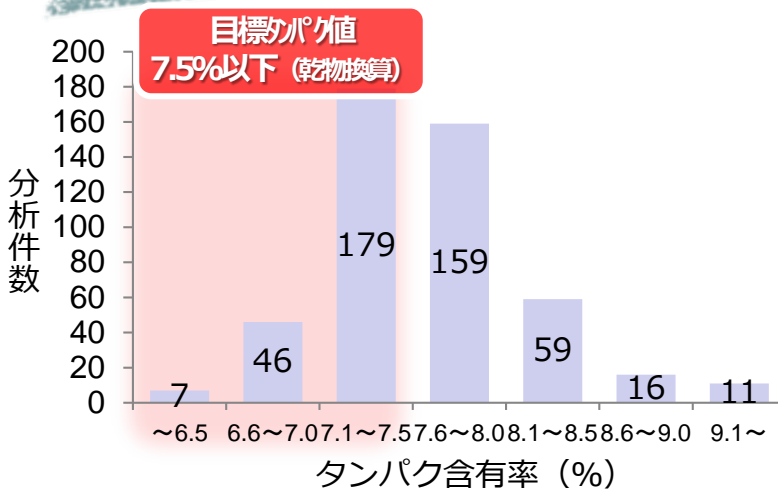


#### アミロースとタンパクとの関係



### レーク伊吹の

#### コシヒカリのタンパク分布



- ✓ 総分析数477のうち、目標値内が232件、それ以上が245件。目標値達成度合いは、ほぼ50%
- ✓ タンパクを下げるために窒素成分を減らすのではなく、まずはイネの光合成能力を高め、しっかり窒素を吸収できるイネを作ることが重要 (土づくり、微量元素、窒素、栽培管理をバランスよく)



# 石灰窒素の利かし方 ～水田秋まき～

今年も田植え後、水稻生育初期に還元障害によって生育が阻害され、分けつが進まない圃場が見られました。この時期の排水改善、秋起こしが来年へのキーポイントです！  
また、後発ヒエなどの種が落ちてしまった圃場の防除対策としても活用ください

## ① 排水をよくして、乾土効果(土が乾くことで地力窒素増加)を出す

『土がある程度、乾いたら・・・』

## ② 石灰窒素 + 秋起こし (微生物が増殖し、稲わら腐熟促進)

20 k g / 10a 施用



40～50 k g / 10a 施用すると・・・

✓ 一年生雑草の除草効果

✓ 落ちてしまったヒエの種を、

休眠  
覚醒



発芽



冬の寒さで枯死

※ ただし、気温条件 18℃前後、発芽できる水分が必要

- 来年、水稻生育初期の還元障害防止
- 有機物の堆肥効果
- ケイ酸の補給

耕耘～田植えの間隔が長いほど効果大！

石灰窒素を 20 k g / 10a 施用した場合の、来春元肥換算の目安

秋すき込みで窒素成分量 1kg増、春すき込みで 1～2kg増の元肥窒素効果として計算

※環境こだわり取組されている方は 窒素成分量にご注意ください

ひと月の動き

## 農政ダイジェスト

農業・地域の雑誌「地上」より抜粋

～定価(税込) 606円 購読申込受付中～

### 17年産米の作況は平年並み

農水省は、17年産米の全国の作況指数について平年並みである100と発表した。東北地方の太平洋側や関東で登熟期の日照不足が影響し、作況が悪くなった地域が目立った。

### JA全農と三菱商事が合併会社を設立

JA全農と三菱商事は、農薬コストの引き下げに向けた合併会社を設立すると発表した。全農が原体を持つ農薬を、三菱商事の販路や製造拠点を生かして海外製造・販売。スケールメリットを生かした効率的な製造が可能となり、全農が国内で販売する農薬価格も引き下げるとしている。

### 地球温暖化の影響をまとめた報告書を発表

農水省は、主要農産物の地球温暖化の影響をまとめた報告書を発表した。水稻の白未熟粒の発生や果樹の着色不良、乳用牛の乳量低下など、各地域の影響を明記。今後も温暖化傾向が続くとし、全国で高温対策を促している。

### 2018年度農林水産関係予算概算要求の一部

農水省資料より抜粋 ( ) 内17年度予算額

総額 2兆6,525億円 (2兆3,071億円)

農地区画拡大推進	1328億円のうち数 (1034億円の内数)
農業支援外国人受入サポート事業	2億円(新規)
女性が変わる未来農業推進事業	1億円(新規)
水田活用直接支払交付金	3304億円 (3150億円)
収入保険制度	531億円(新規)

### レク伊吹の動き

#### ひらたねなし柿の販売開始



11月  
中旬  
まで

今年も生産者の方が丹精込めて作られた、ひらたねなし柿の販売が始まりました。是非、地元産の旬の味覚をご賞味ください。

伊吹の里・旬彩の森・浅井三姉妹の里・えきまちテラス長浜で販売。JA各支店でも申込みが可能。